



月刊 さいとう健けん

発行所: 自由民主党本部 定価1部108円(税込) 毎週火曜日発行
住所: 〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話: 03-3581-6211(代表) ホームページ: <http://www.jimin.jp/>

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、初当選。4期目。環境大臣政務官、
党副幹事長、党農林部会長、農林水産副大臣、農林水産大臣を経て、現
在、衆議院予算委員会理事としてコロナ対策などの予算成立に奮闘中。
〔趣味〕ハンドボール、カラオケ、読書、映画
〔好きな食べ物〕ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)
〔尊敬する人物〕高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎



号外

令和3年6月1日発行

「新型コロナ対策 ひきこもり対策」

新型コロナ対策

新型コロナ対策として、5月25日現在、10都道府県に緊急事態宣言が、8県にまん延防止等特別措置が発令されています。

にもかかわらず、感染は思うようには収まりません。いくつかの理由があると思いますが、さいとう健は、9割置き換わっているとも言われる英国型変異株の影響が一番大きいと考えています。この変異株は従来型に比べまして、感染力で1.3~1.5倍、重症化リスクは1.4倍と強力になっており、特に若年層での感染が増え重症化事例も増えています。今までと同じ対策では効果が出なくなっているのも、当然と言えば当然と言えるでしょう。

ならば、これも当然ですが、対策も一段と厳しいものにしていかねばならないということになります。私権制限には慎重でなければなりません、現行特措法の下でも、かなりのことができるのです。例えば、緊急事態宣言が出れば、休業要請や命令までできます。これを用いれば今まで以上の厳しい措置が可能になります。

一方で、現在においても、経済が悪化し、失業したひとり親の方が生活に苦しむという状況も放置できないので、悩ましいところであります。

なので、さいとう健は、大阪府でこの厳しい措置を先行実施してその効果をみたらどうかと思っています。大阪では重症患者さんが病院に入院できない状態が続いており、死亡例も増えていますから、大阪府民の皆さんの理解が得られやすいのではないかと思います。もちろん、経済への影響緩和措置も実施しながら。

コロナとの戦いは、今が正念場です。ここで、強い対策をうって、新規の感染を最小限に抑えながら、ワクチン接種が進むのを待つ。それしか方策はないのではないのでしょうか。

諸外国の例を見れば、国民のおよそ3割の方々に接種が進めば、感染拡大は止まるし、およそ5割の方々の接種が済めば終息に向かうと言われています。それまでの辛抱なんです。

こういう意識を皆が持って、国民の皆さんと自治体と国が気持ちを一つにして進んでいく。なんとかそういう展開にならないか。さいとう健は微力ながら力を尽くしていく決意です。



予算委員会理事としてコロナ関連予算の成立と、ワクチン接種を含めた医療体制の確保に尽力。

ひきこもり対策

先日、さいとう健が座長代理を務めている、いわゆる「ひきこもり」の社会参画を考えるプロジェクトチームの提言が党内でまとまりました。昨年12月から13回にわたり、関係者からのヒアリングや議論を重ねてきました。

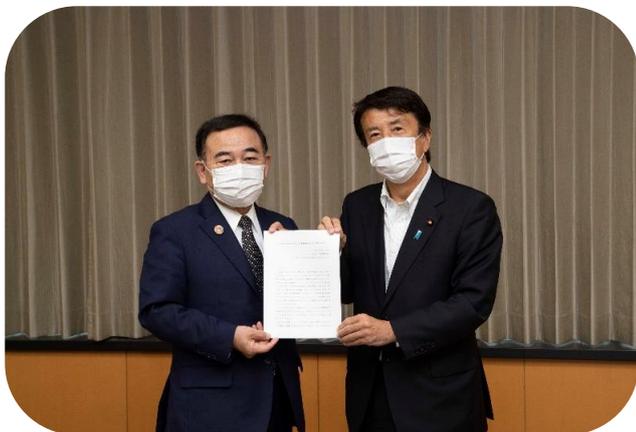
「ひきこもり」とされる方は115万人に上るとされ、それも若い方だけでなく、40歳から64歳までの方が61万人強と、幅広い年齢層に広がっています。さいとう健は「ひきこもり」問題に大きな関心を持って取り組んでおり、不安や生きづらさを感じている方やそのご家族の大変な日々を少しでも改善できないかと、プロジェクトチームを積極的に引っ張ってきました。

「ひきこもり」問題を自己責任と片付けてはならない、社会全体で取り組むべき課題だとさいとう健は考えます。その点を明確にし、多くの方の理解が広がるために、「ひきこもり」政策推進のための基本法を制定することを提言しています。その上で、全国の実態調査や支援策の総点検、官民や関係機関の連携強化による支援の徹底、家族支援体制の構築などを提言しています。

検討中、さいとう健が特に気になった点は、「相談した相手にかえって傷つけられた」という、関係者の方々の生の切実な声でした。なので、意見を強く申し上げ、提言には「心情を理解した上で本当に寄り添える良質な支援者を一人でも多く増やしていくことが何よりも大事だ」と明記されました。

先日、孤独・孤立対策担当大臣の坂本哲志大臣に提言書を申し入れました。総理にも申し入れをしまして、政府内に「ひきこもり」関係府省横断の会議を置く方向となりましたことは、予想以上の成果でした。政府において、今後前進が図られることに大いに期待しておりますが、生ぬるい対応になるようでありましたら、議員立法で基本法を策定するなど、政治主導で断固進めていく決意です。

(参考)「いわゆる「ひきこもり」の社会参画を考えるプロジェクトチーム」の提言をご覧になりたい方は、自民党HPの「ニュース→政策」にて「ひきこもり」と検索していただければと思います。



坂本哲志孤独・孤立対策担当大臣へ「ひきこもり」の社会参画を考える提言書を提出。



コロナ関連の法案も多く審議される中、議員立法の草案責任者として国会答弁。

メルマガ **さいとう健**

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

～ 後援会入会はコチラまで ～

さいとう健 後援会事務所(流山おおたかの森駅 北口すぐ)

〒270-0119 流山市おおたかの森北1-5-2セレーナおおたかの森2階

TEL: 04-7190-5271 FAX: 04-7190-5272 E-mail: info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221